

# 八艘

## 舟塚古墳 (ふなつかこふん)

上玉里



6世紀前半に位置づけられる墳丘長72.0mの前方後円墳です。昭和40年代、1~5次にわたる発掘調査が行なわれました。埋葬施設は特殊な二重石棺で、6条突帯を持つ大型の円筒埴輪、家形、馬形、武人などの形象埴輪などが出土しています。

埋葬施設の特殊性や、大型の円筒埴輪の存在から、中央の大和政権とつながりの深い地方の首長墓と想定されています。



舟塚古墳の二重石棺



## 權現山古墳 (ごんげんやまこふん)

下玉里

5世紀末～6世紀初頭に築造された墳丘長89.5mを誇る市内最大規模の前方後円墳です。平成8年度に実施された発掘調査では、前方部から大刀と鉄鎌が出土しており、埋葬施設として木棺があったと推定されています。造り出し部からは、円筒埴輪、人物埴輪、短甲形埴輪、馬形埴輪などの埴輪のほか、土師器（甕・壺）や須恵器（筒形器台・直口壺）が出土しています。



## 閑居台古墳 (かんきょだいこふん)

高崎

下高崎、西宮神社裏の台地上に立地します。墳丘長は60m。出土した円筒埴輪から6世紀後葉という年代が与えられています。



## 滝台古墳 (たきだいこふん 三枚塚)

下玉里

霞ヶ浦に面した台地上に立地します。墳丘長83.4m。舟塚古墳のものと同じ大型の円筒埴輪や馬形埴輪が出土しています。時期は6世紀前半。



## 桃山古墳 (ももやまこふん)

下玉里

霞ヶ浦に面した台地上に立地します。墳丘長54.5mで、円筒埴輪、馬形埴輪が出土しています。墳頂に「桃山御陵遥拝所」と書かれた石碑があり、古墳名の由来となっています。



## 山田峰古墳 (やまだみねこふん)

下玉里



玉里半島突端の台地上に立地します。墳丘長83.6m。多条突帯の円筒埴輪や馬形埴輪が出土しており、6世紀中葉という年代が与えられています。



富士峰古墳出土の直刀



## 大井戸古墳 (おおいどこふん 伝馬塚、小舟塚)

大井戸～川中子間の県道沿い、標高2mの自然堤防上に築造された前方後円墳です。現在は、墳丘の一部が現存しているにとどまり、築堤工事の際、「太刀、鎧、埴輪、玉類」が出土したと伝えられています。

## 富士峰古墳 (ふじみねこふん)

高崎



霞ヶ浦に面する台地に所在する墳丘長68mの前方後円墳ですが、築堤工事のために墳丘は削平されました。後円部にあった3基の石棺からは、直刀、銅鉤、金環、勾玉、ガラス小玉などが出土しています。墳丘北側に残存していた周溝において、埴輪が出土していないことから、埴輪樹立が終焉した後に築造された最後の前方後円墳であると思われます。築造年代は6世紀末頃。

# 玉里の史跡

## 六井六畠八館八艘

探訪  
マップ



玉里には「六井六畠八館八艘」という言葉が残っています。湧き水が多く、水が豊かで(六井)、地味が肥えて生産力が高く(六畠)、したがって中世には勢力拠点であった城館(八館)、古墳時代には、地方の首長墓である大規模な前方後円墳が多数築かれました(八艘)。このような玉里地域の歴史を端的にあらわしているのが、このことばです。

こうした代表的な史跡を巡り、ふるさとの再発見につながれば幸いです。